

一乗谷朝倉氏遺跡 特別名勝 4庭園の紹介

特別史跡一乗谷朝倉氏遺跡内には「朝倉館跡庭園」、「湯殿跡庭園」、「諏訪館跡庭園」、「南陽寺跡庭園」の4庭園があります。平成3年に特別名勝一乗谷朝倉氏庭園として指定され、その価値は、「庭園が良好な状態で残っていること」、「庭園周辺の地形がほとんど変わっていないこと」、「文献資料と発掘調査から庭園の利用実態がわかること」、「庭園から朝倉氏の総合的な文化力が窺えること」の4点で文化史上きわめて価値が高い庭園として評価されています。

戦国城下町と共に良好な状態で検出された庭園 ……後世の改変をほとんど受けずに作庭時期を室町時代末期に限定できる良好な保存状態です。

戦国期を追体験できる地形と一体を成す庭園 ……戦国時代とほとんど変わらない周辺の地形と一体的に庭園が保存されています。

具体的な利用実態から作庭の意義が分かる庭園 ……「朝倉館跡」と「南陽寺跡」は、室町時代最後の将軍の御成・遊興の舞台として御成記等の文献史料に登場します。発掘調査で建築遺構と庭園遺構、遊興の痕跡を伝える出土品が一体的に確認され、文献資料や遺物等で庭園の利用実態がうかがえます。

朝倉氏の文化力を窺わせる庭園 ……庭園遺構が、朝倉氏一族に限らず家臣団や医師などの多様な階層の屋敷で見つかっています。朝倉氏が京都の文化の摂取に留まらず一乗谷において庭園文化を育むなど総合的な文化力を持っていたことがうかがえます。

詳細については、「特別名勝一乗谷朝倉氏庭園保存活用計画」にて紹介しています。

なんようじあと
南陽寺跡庭園



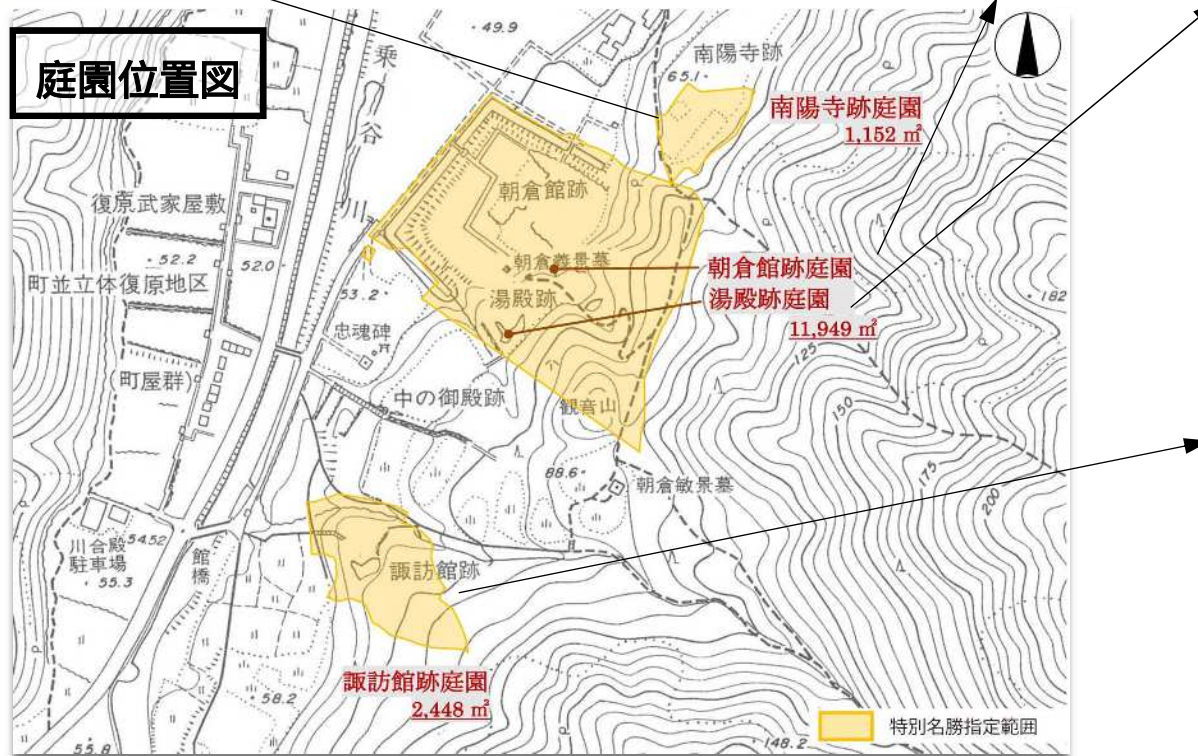
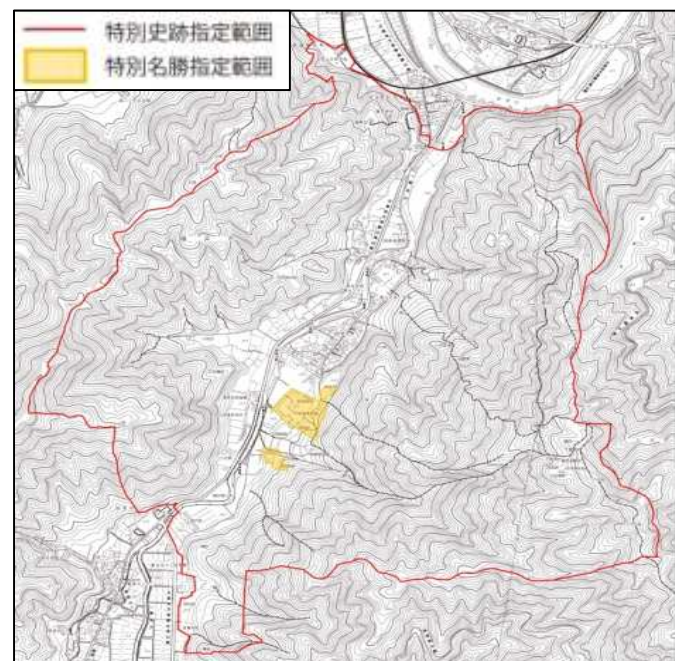
あさくらかたあと
朝倉館跡庭園



ゆどのあと
湯殿跡庭園



特別史跡と特別名勝の指定範囲



すわやかたあと
諏訪館跡庭園



